

mg/dL、RAPA 160、ANA 40 倍、KL-6 332 U/mL (基準値 105.3-401.2)、 $\beta$ -D glucan 21.5 pg/mL (基準値 <11)、CMV-Ab (-)。動脈血血液ガス分析 (O<sub>2</sub> 2L 吸入下)、pH 7.404 PCO<sub>2</sub> 39.6 Torr、PO<sub>2</sub> 62.5 Torr。胸部画像所見では、胸部 X 線写真 (CXR) (図 1) は、入院時両側肺門部主体でやや右側に強いびまん性の浸潤影を認める。その際の胸部 CT (図 2) では肺門部から末梢に拡がる気管支透瞭像を伴う肺胞性浸潤影とすりガラス影を認める。発症前、発症時共に CTR は正常であり、心不全は否定的であった。

図 1 胸部エックス線写真 (I)

発症以前



入院時(2002年10月16日)

